

# 黒竹山（709.9m） 浄水場から南尾根コース

平成 28 年 12 月 10 日(土)

CL 藤木(晴)A 班 SL 澤田 近藤 津川 八重樫 栗山 B 班 SL 藤木(たか) 長沼 平林 笹山 谷 渡邊

以上 12 名参加

行程 7:00 伊達道の駅 8:30~9:00 浄水場 P 登山口 11:20~11:30 黒竹山山頂  
12:10~12:40 下山途中昼食 13:30 浄水場 P 登山口 途中入浴 16:00 伊達道の駅

この頃、伊達道の駅が集合場所で少し得した気持ち。いつもは朝食も食べずに集合して、出発後、車中で食事。しかし、自宅で食べてから集合場所に行ける。これって健康にいいかもって思いました。それはさておき集合場所の道の駅に着くと、インフルエンザにかかった家族がいるため欠席一名、本人はとても楽しみにしていたと思う。ともかく、みんな元気に出発。

転倒し歩きづらい。細尾根に着くと上から思い切り押したような大木を発見。みんな驚きの様子でしばし歩きを止める。細尾根を過ぎても足取りは笹に阻まれ思うように歩けない。



浄水場の除雪した道路の終点に車を止めスノーシューに履き替え出発。広い雪原を歩くが山頂はまだ見えない。

山頂に向かうコースにコンパスを当て歩くとすぐに密集した太い根曲がり竹に遭遇。歩けるところを探し笹の上に乗るが沈まない。竹藪をやっとの思いで抜けると笹のない針葉樹。今までとは違って歩きやすい。黒竹山から延びる尾根をひたすら歩く（実際は尾根だかわからない）。



それでもようやく頂上に到着。眺めはルスツの山々や小貫気別岳が望め展望も良い。記念写真をとりすぐに下山。途中、平らな所でツェルトを貼り昼食。ツェルトの中での昼食は楽しく登山の余裕ができる。歩いてきた道を下るので下山は歩きやすくアッという間に登山口に着く。

時間が早いので、初めてビーコンを持った会員に雪崩発生時、巻き込まれた埋没者の捜索の仕方のトレーニング。本当はスキーができる山？雪が少ないためスキーはどこ滑るのか、次のお楽しみ。



いつの間にか、針葉樹林帯から紅葉樹林帯に変わる。広い平らな尾根を痩せ尾根にあてたコンパスを時折確かめながら歩く。雪が少ないためか、所々でスノーシューが雪面を貫き落ちる。見えない笹の畏にはまり

まずは、無事、下山。洞爺湖が一望できる温泉で疲れを癒し帰路に。楽しい山行でした。計画を立てられたリーダー、また、運転をされた方々ありがとうございました。記録 渡邊